



ひろせっ子だより

令和6年度 学校だより 第5号

令和6年9月3日発行

本来なら8月29日(木)から始まる予定であった78日間の2学期は、台風10号接近による大雨のため、2日間の臨時休校を経て、9月2日(月)に始まりました。

今学期も引き続き「夢をもち たくましくしなやかな ひろせっ子」をめざし、日々の教育活動に職員一同、精一杯取り組んでいきます。これまで同様、御理解と御協力をよろしくお願ひします。

8月29日(木)、30日(金)の臨時休校への対応をありがとうございました。

磐田市では、自宅待機・休校の基準を気象庁が発表する「気象による特別警報」「台風による強風注意及び暴風警報」が発令された場合、磐田市が発表する「避難指示：レベル4」「緊急安全確保：レベル5」が発令された場合となっています。しかし、豊岡地区は2年前の浸水等の災害を考慮し、今回の台風10号へは、より慎重な対応を取ることとしました。皆様の御理解と御協力に感謝します。今後も児童の安全を第一に考えた対応に努めていきます。

～2学期始業式 校長の話～

(暑さによる児童の体調を考慮し、オンラインで行いました)

ひろせっ子の皆さん、おはようございます。

台風10号の影響で予定より少し長い夏休みとなりましたね。

大雨や雷で怖い思いをした人もいるでしょう。数日遅れの始業式となりましたが、今朝、皆さんの元気な顔を見ることができてとてもうれしく思いました。『子供たちの元気な声と笑顔があつてこそ、学校だな』と強く感じました。



今年の夏は、パリオリンピックで日本人選手が大活躍でしたね。私もテレビを見ながらたくさん応援しました。特に体操男子、バスケットボール、陸上など、手に汗握る瞬間の連続でした。

障がいのあるアスリートが参加するパラリンピックが、8月29日から開催されています。お隣の浜松市出身の鈴木孝幸選手が、平泳ぎと自由形の両方で金と銀のメダルを取るなど、大活躍です。

メダルを取った選手のほとんど全員が、インタビューの中で言う言葉に家族やコーチ、仲間、相手の選手に対する「ありがとう」という感謝の気持ちが含まれています。どんなに優れた選手も、決して自分一人の力だけで闘っているわけではありません。周りの人の支えや助け、応援を受けて、本番の大会ですばらしい力を発揮できるのだと思います。



2学期最初の今日は、オリンピックでの「ありがとう」の言葉につながっていくお話をしたいと思います。

こちらをご覧ください。昇降口の写真です。ひろせっ子委員会が豊岡南小の子供たちに「言われてうれしいふわふわ言葉」のアンケート

1位	ありがとう	137人
2位	すごいね	62人
3位	大丈夫	34人
4位	上手だね	21人
5位	頑張って	19人
6位	一緒に遊ぼう	14人
7位	頑張ってるね	13人
8位	良かったね	4人
8位	しっかりしてるね	4人
10位	大好きだよ	3人

ートをとってくれました。そのランキング結果を始業式に合わせて山崎先生と高坂先生が昇降口に貼ってくれたものです。ランキング第1位は、何という言葉だと思いますか。

ダントツで「ありがとう」だったそうです。オリンピック選手のインタビューで聞かれる感謝の言葉と一緒にしたね。

ある実験を紹介します。「ふわふわ言葉」と「ちくちく言葉」をテーマに行った実験です。

「ありがとう、大丈夫だよ、がんばっているね」など、言われてうれしい「ふわふわ言葉」と「うざい、むかつく、バカ」等、言われたら悲しくなる「ちくちく言葉」、この「ふわふわ言葉」と「ちくちく言葉」を毎日毎日、約1年間植物に言葉掛けしたそうです。

するとどうでしょう。

左の写真にある「ふわふわ言葉」を掛け続けた植物は成長が速く、大きく育ったそうです。葉の緑色もとてもきれいです。

それに比べて、右の写真にある「ちくちく言葉」を掛け続けた方は、茎や葉に力がなくなり、しおれたようになりました。成長はしましたが、大きくなるのは大変遅かったようです。

別の植物でも、写真のように、やっぱり同じような実験結果になったそうです。同じ植物を同じ環境で同じように育てたのに、毎日かける言葉の違いだけで、このような差が出たそうです。不思議ですね。



「ちくちく言葉」は、人の心を傷つけ、成長する力、頑張ろうとする力まで奪ってしましますが、「ふわふわ言葉」は、人の心や命に励ましを与え、元気にしていきます。

人間の耳と脳は、とても敏感です。自分が人に発した言葉も、聞いている自分の耳に届きます。ちくちく言葉を使うと、先ほどの実験のように、言われた人はもちろんですが、使った本人も成長する力を失っていきます。

言葉は自分の耳にも届きますから、ふわふわ言葉を使うと、言われた人はもちろん、言った人も、元気な気持ちになり、良いことやうれしいことが起きていきます。

私はやる気や元気を奪う「ちくちく言葉」が豊岡南小からなくなり、**皆が笑顔で元気になれる「ふわふわ言葉」がいっぱい飛び交う学校にしたい**と思っています。ひろせつ子が頑張っている挨拶に加え、ふわふわ言葉を意識してたくさん使うことで「笑顔の花」がたくさん咲く2学期にしていきたいと思います。これで、お話を終わります。



～安心・安全な学校に向けて～

夏休みの間に行われた修繕工事等を紹介します。磐田市教育委員会の御協力のおかげで、校内の環境が大変よくなりました。

子供たちが学びに進んで取り組み、充実した学校生活を送ることのできる環境づくりに今後も努めていきます。

学校にお越しの際は、ぜひ御覧になるとともに、お気づきのことがありましたら学校までお知らせください。



・北校舎2階教室（1-1・2-1・2-2）床の研磨とウレタンを塗布しました。今後も計画的に全教室をきれいにしていきます。



・教室内南側の壁面の汚れを改善するため、全教室（1～6年・くすのき）塗り直しました。その結果、教室内が明るくなりました。



・北校舎1階くすのき教室（1組・2組）廊下壁面を張替えました。子供たちの作品がより引き立つようにしました。



いざという（災害）時に備えて

近年、気候の変動に伴い、暑さ（熱中症）をはじめ、自然災害の激甚化・頻発化が全国的に懸念されています。学校は、子供たちや教職員が安心して教育活動や生活を行う場であると同時に、それらに対する対応が強く求められます。

実際に、1学期の6月28日（金）には、登校後、大量の降雨により磐田市から「避難情報」の「避難指示」が発令され、子供たちを急きょ、通学区ごとに集団下校または通学路・自宅に「土砂災害警戒区域」に該当する保護者へ引渡しました。

また、先週の台風10号による大雨では、本校を含め、豊岡地区の地理的な実態、これまでの経過をふまえ、8月29日（木）・30日（金）の2日間、臨時休校としました。

今後、台風が多く発生する時期を迎えます。

子供たちが在校中に、再び「避難指示」「緊急安全確保」等が発令された場合に備え、また6月28日の引渡しの際に混乱が生じたことをふまえ、改善できることはないか、臨時休校の時に全職員で話し合いました。そして、9月12日に実際に訓練をすることで、よりよい対応について検討していきます。



各家庭におかれましても、今回の出来事をもとに「急に児童が下校することになった場合の対応方法」「家庭内での情報の共有方法」「自宅の鍵の取扱い」など、親子で話合う時間を設けていただき、いざという時に備えるようよろしくお願いします。

～お知らせ～

・教諭 ○○ ○○ が、9月1日（日）から3月31日（月）まで、本校で再び勤務することになりました。

○○は主に

- ・3～6年生の「外国語活動」「外国語」の指導に
- ・2年・4年の算数に、T2として指導支援にあたります。

あらかじめ御承知くださいますよう、よろしくお願いします。